

旬な現場 ～若手技術者の紹介～

平成29年度 庄内川前田しゅんせつ工事

発注者：庄内川河川事務所
受注者：みらい建設工業㈱



2016年入社：睦 堅斗(むつ けんと)

【建設業に入った動機】

私が、建設業を志したのは高校生2年生の3月に発生した東日本大震災の被災状況をテレビで目の当たりにして、このような悲惨な災害が二度と起こらない世の中にしたいたいと思い、大学は土木建設系の学科を志望し、みらい建設工業に入社しました。

【工事の概要】

本工事は、庄内川の洪水対策として河床に溜まった土砂をバックホウ浚渫船にて掘削し、改良材により硬化させた後に瀬戸市の土捨場まで運搬する工事です。浚渫土量は余掘を含めて12,500m³となっています。

また、本工事は河川浚渫工事として全国初のICT活用工事となっており、今後i-Constructionを推進していく中で勉強になる現場だと思っています。

【やりがい】

庄内川の河道掘削工事は、2000年の東海豪雨を受けた洪水対策事業の一貫であります。通常の土木工事とは異なり地図に残らない仕事ですが、自分が地域の方々の生活や生命を守っているという責任を感じながら日々現場に従事しています。

【建設業への就職を希望するみんなへ】

建設業は、3K(きつい・汚い・危険)といったイメージがあると思いますが、現在は仮設トイレ一つをとっても、多くの工事現場で「快適トイレ」を採用しているため非常に綺麗です。

建設業は社会基盤整備という無くてはならない産業であり、若い力を必要としています。



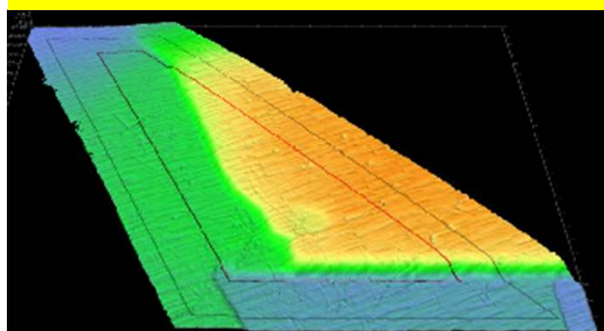
河川浚渫状況



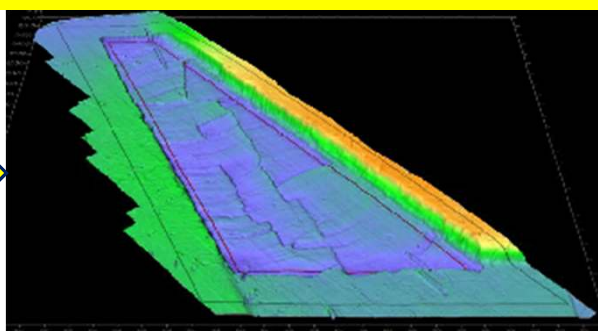
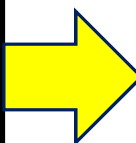
マシンガイダンスを用いた河川浚渫

ナローマルチビーム測深機による三次元測量

【当社施工：八戸港河原木地区航路・泊地(-14m)浚渫工事】



着工前



完成